

浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索！



中四国MIST研究発表

浜田医療センター整形外科医師 大畑 康明

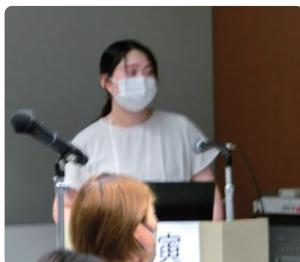
浜田医療センター整形外科の大畑康明です。本年7月29日に松江市で開かれまして「第11回中四国MIST(最小侵襲脊椎治療)研究会」に参加し、症例発表の機会をいただきましたので広報誌の場をお借りして報告させていただきます。

MISTとは最小侵襲脊椎治療の略語です。近年、手術治療では低侵襲と言われる体への負担の少ない手術治療が広まっている中で、負担の大きい手術と思われる脊椎手術を、可能な限り低侵襲にして最大限の効果を得る治療手技、それがMISTです。当院整形外科の部長である柿丸裕之がこの度の第11回中四国MIST研究会の当番世話人として本研究会を開催しました。

研究会には中四国各県、遠くは福岡県から、医師、看護師、放射線技師、リハビリテーションなど脊椎治療に携わる多くの職種の方々に参加し、猛暑の中でしたが総勢100名が参加しました。内容は、医師による脊椎治療についての演題発表、看護師の演題発表、エキスパートによる教育研修講演、脊椎手術に用いる手術機械のハンズオンセミナーなど、内容豊富な研究会でした。多くの医療関係の学会、研究会がある中で、これほど多職種が集まる研究会は珍しく、大変有意義で貴重な会であったと思います。

当院からは私と手術室看護師の石田和美さんが演題発表を行いました。私は、「最近経験した脊椎外傷の2例」と題して症例報告を行いました。他院から紹介受診した第5頸椎脱臼骨折の症例と下肢麻痺を伴った頸椎胸椎の症例について報告し、質疑応答を行いました。他病院の先生から治療内容に関して鋭い質問を投げかけられ、返答に大変緊張しました。多くの先生方の前で発表し質疑応答することは貴重な経験であり、発表の準備や想定質問に対する勉強なども必要で、大変勉強になりました。手術室の石田看護師さんは「脊椎手術におけるベンシーツカウントの実際」と題して、脊椎手術で実際に看護師が実践している工夫を発表しました。参加者や司会の先生の質問に堂々と応答しており、とても頼もしく思いました。

私も石田さんも優秀演題賞は逃しましたが、このような研究会に参加し、演題発表という経験をし、最新の脊椎手術について学ぶことができました。また、他県の先生方と交流ができ、とても有意義な機会でした。今後も積極的に学会参加を行って自己研鑽に努め、地域に貢献できる医師になりたいと思います。



石田 和美看護師



質疑応答する大畑医師



当番世話人を務めた柿丸医師

contents

- 2 中四国MIST研究発表
- 3~4 学会発表
- 5 市民公開講座の再開!
- 6 1日看護体験・新任医師紹介
- 7 病棟紹介:アドバンス助産師
- 8~9 看護学校だより
- 10 入院・退院 サポートコーナーの紹介
- 11 がん相談支援センターだより HAMADAプログラム 冬の特別メニュー
- 12 外来診療担当医表